

日本テレビ放送網株式会社
2025 年 9 月 2 日

**TBS テレビと「Ad Reach MAX プロジェクト」参画の基本合意書を締結
2027 年春、TBS の参画により Ad Reach MAX プラットフォームの業界共通化を加速
オンラインかつプログラマティックな CM 枠取引を拡大し、テレビ広告の高度化を目指します**

日本テレビ放送網株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：福田博之、以下「日本テレビ」）と株式会社TBSテレビ（本社：東京都港区、代表取締役社長：龍宝正峰、以下「TBSテレビ」）は日本テレビが推進する「Ad Reach MAX（以下、AdRM）プロジェクト※1」が開発・運営するAdRMプラットフォームのテレビ広告業界における共通プラットフォーム化に向けた検討について、基本合意書を締結しました。両社は2027年春の開始をめどに、TBSテレビのCM枠をAdRMプラットフォームへ拠出できるよう、共同で準備を進めます。

日本テレビとTBSテレビは、テクノロジーを活用してテレビ広告を高度化し、オンラインかつプログラマティックな取引とTVerなどのデジタル広告との統合セールスの実現を目指す「AdRMプロジェクト」について、協議を重ねてきました。テレビ・広告業界を取り巻く環境は急速に変化しており、広告主がテレビ広告に求める価値も多様化しています。こうした認識の下、日本テレビの目指す新たな価値創出の方向性にTBSテレビからご賛同をいただき、AdRMプラットフォームの業界共通プラットフォーム化とTBSテレビのCM枠拠出に向け、具体的な協議およびシステム投資を進めてまいります。

本基本合意により、両社は「AdRMプロジェクト」のさらなる発展に向け、継続的な戦略協議とシステム開発を進め、2027年春をめどにAdRMプラットフォームの業界共通プラットフォーム化の実現を目指します。

※1：テレビ広告においてデジタル広告と同様の最適かつ柔軟なプログラマティック取引の実現を目指すプロジェクト



（左から：日本テレビ営業局長 井田佳男、TBSテレビ営業局長 伊藤健二）

日本テレビ放送網株式会社

2025 年 9 月 2 日

■ AdRMプラットフォームの業界共通プラットフォーム化について

2025 年 3 月に運用を開始した AdRM プラットフォームは、日本テレビの関東エリアの CM 枠を Web サービス「スグリー」※2 および外部 SSP・DSP と接続する「AdRM-Exchange」を通じて販売しています。2026 年には、読売テレビ放送株式会社、中京テレビ放送株式会社など日本テレビ系列のネットワーク局の CM 枠も購入可能となる予定です。従来、テレビ広告の取引は主としてオフラインで行われてきましたが、各社が AdRM プラットフォームに CM 枠を抛出することで、オンラインかつプログラマティックな取引が可能になります。こうした取り組みにより、テレビ広告の新たな価値創出と運用効率の向上を図り、AdRM プラットフォームの業界共通プラットフォーム化を推進してまいります。

※2：テレビ広告をオンラインでリアルタイムに発注、運用できる AdRM プラットフォームのユーザーインターフェイス



■ 【日本テレビ 代表取締役社長執行役員 福田博之 コメント】

TBS テレビ様と「AdRM プロジェクト」における基本合意を締結できたことを大変喜ばしく思います。将来的に、日本中のテレビ局の CM 枠を取引できるプラットフォームを目指す本プロジェクトの実現に向けた大きな前進です。今後も連携を密にし、テレビ広告のさらなる発展に全力を尽くしてまいります。

■ 【TBS テレビ 代表取締役社長 龍宝正峰 コメント】

このたび、日本テレビ様と「AdRM プロジェクト」における基本合意を締結できたことを心より喜ばしく思います。地上波テレビ広告が持つ潜在的なポテンシャルを、AdRM プラットフォームを通じて最大限に引き出し、広告主の皆様へテレビ広告の新たな価値を提供できるよう、日本テレビ様と共に尽力してまいります。

<本件に関するお問合せ先>

日本テレビ 営業局営業戦略センター

アドリーチマックス部 arm-info@ntv.co.jp